

事務事業名	国営造成施設耐震対策事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
H29作成課等名	農業課	H29係等名	事業種別	政策	開始	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	1	11	20	30			
	施策	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり						
		支え、育む産業基盤づくり						
目的	対象(誰・何を)	1 竜西一貫水路の受益農業者及び流域住民。 2 負担金の支出先は、長野県、竜西土地改良区。				対象指標	指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	国営造成施設耐震対策事業の対象となる施設(サイフォン、水路橋等)を改修することにより用水機能が維持される。				支払団体数		1
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業)				市内組合員数(人)		1357
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	改修完了施設数(9施設)		7	7	7	7	第1期(H21-26)3施設完了、第2期(H24-30)4施設完了、
	成果指標	負担金支払団体数/負担金対象団体数		1	1	1	1	
	定性目標							
事業概要	<p>県営造成施設耐震対策事業に伴う負担金を支出する。 県営造成施設耐震対策事業 竜西地区 第1期 H21～H26 3施設 松川サイフォン、久米川サイフォン、胡麻目沢水路橋 第2期 H24～H28 6施設 市田サイフォン1号、市田サイフォン2号、臼井川サイフォン 毛賀沢水路橋、祢宜屋沢サイフォン、宮ヶ洞水路橋(天竜川サイフォン、前河原サイフォンは国直轄事業に変更)</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 県営農村地域防災減災事業 農地防災(ため池等)負担金 県施工の竜西一貫水路の耐震対策事業 負担割合:国55%、県32%、市町7.8%、改良区5.2% 市町負担分のうち市負担割合65% 28年度事業費 57,000千円			1 負担金額		1 2,890千円		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		2,282	3,296	2,890	0	(地)公共事業等(充当率90%)		
国庫支出金								
県支出金								
起債			2,900	2,600				
その他								
一般財源		2,282	396	290				
人件費計(千円)②		0	0	0	0			
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		2,282	3,296	2,890	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	長野県の耐震対策事業計画に従い、整備事業が進められた。							
改革改善の考え方	①問題点	受益区域の町、土地改良区との間で協議した負担割合により適正に支出することが求められている。						
	②改革提案	負担割合を遵守し、適正支出に努める。						